

年頭のご挨拶

公益財団法人 金融情報システムセンター

理事長 稲垣 光隆



令和7年の新春を迎えるにあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

デジタル技術の進化が加速するなかで、金融情報システムは、なお変化を続けています。金融機関の業務や組織運営、さらには金融ビジネスそのものが、金融情報システムの変化に呼応し、絶え間なく変革しています。

このような進化と変化、変革のなかで、金融情報システムが直面する脅威とリスクもまた変化し、一段と高まっています。特に、サイバーセキュリティに関する脅威は深刻さを増し、国家レベル、経済安全保障の観点からも重要な課題となっています。

金融機関においては、経営戦略とIT戦略とを一体化したITガバナンス態勢を整備し、そのもとで適切にIT投資を行い、新しい技術を積極的に取り入れつつ、安全性と安定性の高い金融情報システムを構築および運営していくことが求められます。さらに、適切なシステムリスク管理と強固なセキュリティ対策、厳正なシステム監査、さらには計画的な人材確保および育成の実施が必要です。

当センターは昭和59年の設立以来、金融情報システムに関する諸問題についての調査研究、問題解決に向けた提言、システムの安全対策等に関するガイドラインの策定と維持管理など、幅広い事業を展開してまいりました。会員企業および団体の皆様、関係当局の皆様には、当センターの活動に対し多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私どもは今後とも、わが国の金融情報システム、ひいては金融システムの健全な発展に貢献すべく、役職員一同、時々の環境に対応した調査・研究活動やガイドライン等の充実、そしてこれらの内容についてのタイムリーな情報発信に努めてまいります。引き続き、皆様の変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

